



## ミドルウェア特集に寄せて

経営執行役常務  
ソフトウェア事業本部長

棚倉 由行

経営環境の激しい変化，それに伴うスピード経営の必要性については久しく語られ続けていますが，2005年の個人情報保護法，現在法制化が進められている日本版SOX法（企業改革法）など，変化の波は次々と押し寄せているというのが多くの方の思いかと存じます。一方，今やITシステムは経営を支える重要なファクタであり，経営が直面する課題の多くはITシステムがかかわるべきものでもあります。そして，いかにしてITシステムの効率化と変化への対応力を強化し，真にスピード経営を支えるITシステムに変革していくかを課題としておられる皆様も多いと存じます。

お客様のこのような状況に応え新たな挑戦を支えるために，富士通は様々なソリューションを提供しています。それらのソリューションを支えているのは，安定性と変化への対応力を備えた富士通のIT基盤「TRIOLE」です。そして，TRIOLEのコンセプトを具体化する要とも言えるのが富士通のミドルウェアです。これらのミドルウェアは様々なIT資源を仮想化し，運用性と安定性を高めると同時に，お客様のアプリケーションプログラムの利用に柔軟性をもたらします。

本特集では，動きの速い今日のビジネスシーンへの柔軟な対応力とITシステムの成長力をもたらすTRIOLEを支える富士通のミドルウェアについてご紹介いたします。これらは，柔軟性と信頼性を備えたアプリケーションプラットフォームInterstage，お客様の経営戦略に沿ったシステム運用を実現するSystemwalker，お客様に揺るぎない安心を提供する高信頼データベースSymfowareなど，企業のITシステムの構築に重要な役割を果たす基盤ソフトウェアです。

お客様が必要とする企業システムを高い技術・品質とサポート力でお客様に提供していくこと，それが富士通の使命です。富士通は，今後ともお客様起点による「商品価値の創造」を目指し，特徴が鮮明で使いやすい商品をスピーディに提供することで，お客様の良きビジネスパートナーとして貢献していきたいと考えております。